

海員春闘 [中央交渉]

第2回 全内航交渉委員会

令和8年度の第2回全内航交渉委員会は、3月11日の16時から、海員組合関西地方支部大会議室で開催し、第1回交渉で仮合意した「有効期間」を除く組合要求について逐条審議を行った。

船団側は、組合要求の基本給について、海運業界に船員を呼び込むためにも賃金改善の必要性は理解するも、イラン問題などにより今後の見通しも不透明な状況下、本日時点で回答を示すのは困難であるとの考え方を示した。

これに対し組合側は、陸上諸産業でも昨年以上の賃上げ回答が示されており、人材確保競争は激化している。大幅な賃金改善は必要不可欠であると指摘したが、船団側は具体的な回答を示さず、議論は平行線をたどった。

また、長期乗船慰労金について船団側は、組合要求については理解するも、船団内部で具体的な回答がまとまっていないことから本日時点での回答は難しいとした。

これに対し組合側は、適正な陸上休暇の付与と若年船員の定着率向上の観点から、長期乗船慰労金は必要であるとした。また、基本給を含めた組合要求に対し具体的な回答を示すよう内部検討し、次回交渉に臨むよう要請した。

次回交渉は、3月17日に組合本部で開催することとし第2回交渉を終えた。

「海員だより」